

Business
Report

へんしん

第46期

[平成28年4月1日~平成29年3月31日]



低騒音型 超強力吸引作業車
(LSR-13BWJP)



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード: 6402



代表取締役社長
佃 維男



代表取締役専務
山本 琴一

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2~3 財務ハイライト
- 4 財務諸表
- 5~6 事業概要
- 7~8 製品トピックス
- 9 トピックス
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第46期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」
をお届けいたします。

営業の概況等

当期における我が国経済は、年度前半は円高の影響等により企業収益が
圧迫され、個人消費の回復力にも弱さがみられたものの、後半には政府
の経済政策やトランプ政権誕生後の円安効果もあり全般的に持ち直しに転
じました。年度全般では、雇用・所得環境が改善し、総じて緩やかな回復
基調が継続しました。

当社は期初受注残から引き続き、活発な生産活動を維持しました。首都
圏を中心とするオリンピック事業向け需要に加え、全国的なインフラ整備/
長寿命化等に伴う幅広い需要に支えられ、主力製品である強力吸引作業車・
高圧洗浄車共に過去最高の生産台数となりました。特に高圧洗浄車は、下
水管更生需要等に伴い、前年比大幅な伸びとなりました。

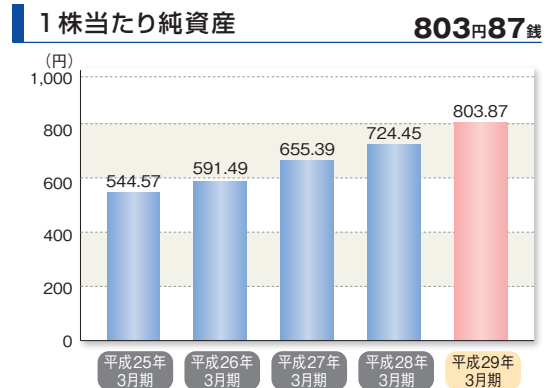
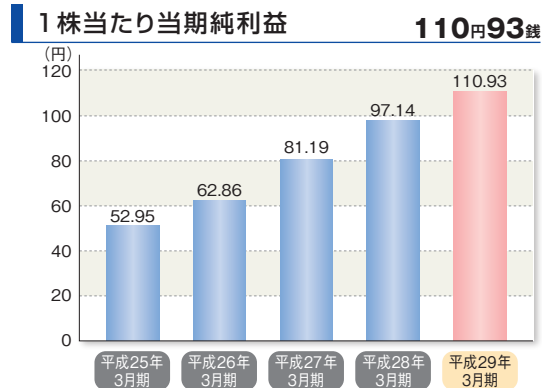
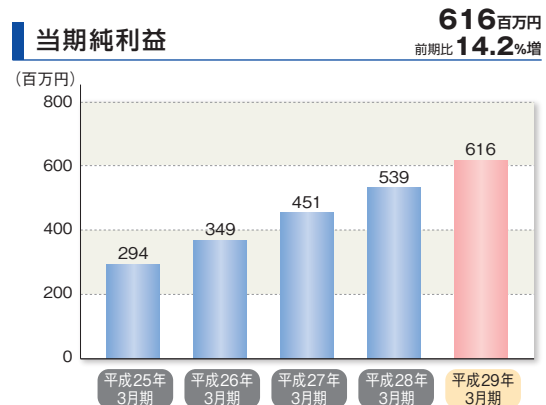
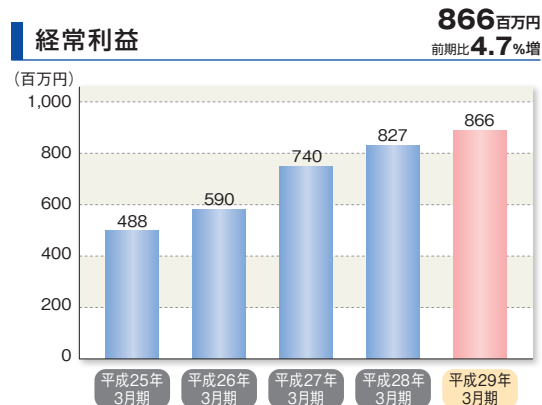
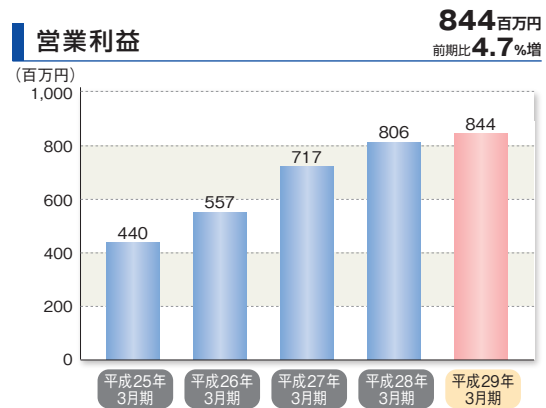
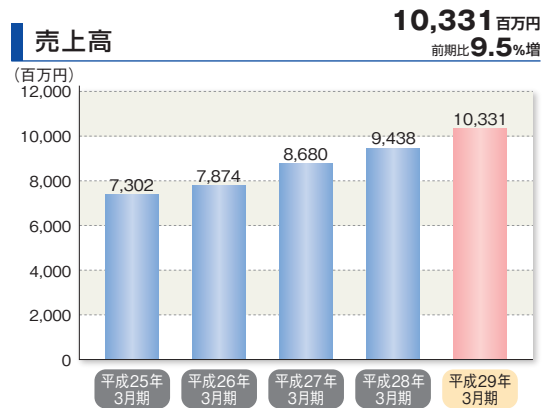
その他、造船所向けに複数台の定置型吸引機や、バイオマス再資源化
装置の初売上も計上いたしました。

当社の特徴である、お客様のニーズに応じた製品を受注生産する一方
で、短期間での納車を希望されるお客様に応えるため、先行製作車の生産
も積極的に行いました。

この結果、当期は第40期以降7期連続で増収・増益の結果となり、株式
上場以来最高の売上高・利益を更新することができました。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

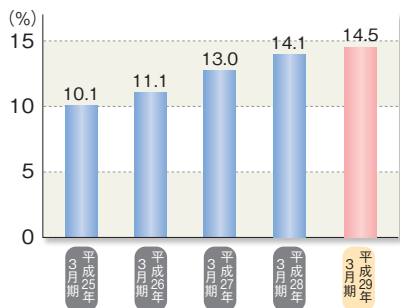
平成29年6月



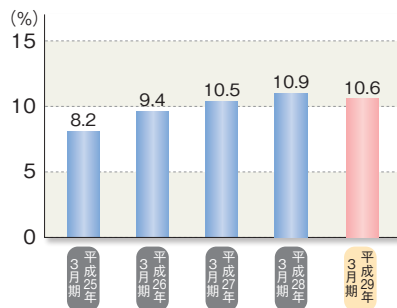
※平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。
平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。

財務分析指標の推移

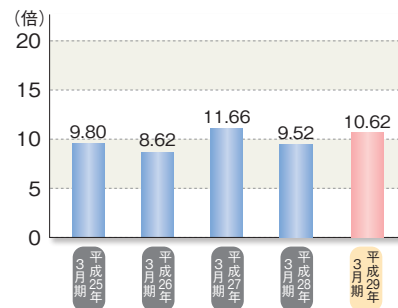
ROE (自己資本当期純利益率)



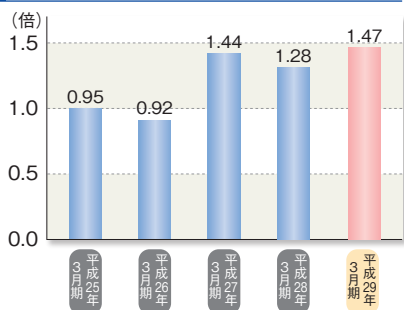
ROA (総資産経常利益率)



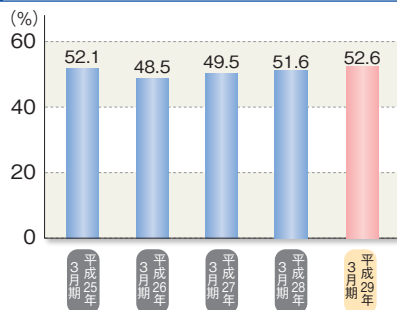
PER (株価収益率)



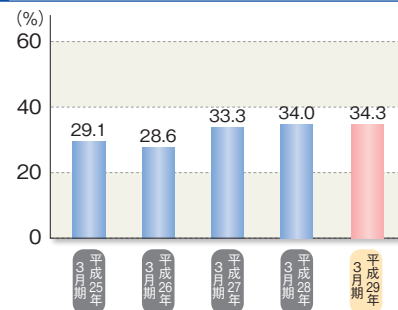
PBR (株価純資産倍率)



自己資本比率



配当性向



平成30年3月期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期予想	4,900百万円	400百万円	410百万円	283百万円	50円91銭
通期予想	10,000百万円	820百万円	840百万円	580百万円	104円34銭
対前期増減率	3.2%減	2.8%減	3.0%減	5.8%減	

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 末 (平成29年3月31日)	前 期 末 (平成28年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	6,325,274	5,605,368
固定資産	2,177,801	2,199,381
有形固定資産	1,926,601	1,939,070
無形固定資産	52,600	71,696
投資その他の資産	198,599	188,614
資産合計	8,503,076	7,804,749
(負債の部)		
流動負債	3,841,760	3,601,163
固定負債	192,768	176,508
負債合計	4,034,529	3,777,672
(純資産の部)		
株主資本	4,461,306	4,028,091
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	3,793,414	3,360,199
自己株式	△1,828	△1,828
評価・換算差額等	7,240	△1,014
純資産合計	4,468,547	4,027,077
負債純資産合計	8,503,076	7,804,749

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前 期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,331,385	9,438,788
売上原価	7,750,863	7,074,765
売上総利益	2,580,522	2,364,023
販売費及び一般管理費	1,735,678	1,557,216
営業利益	844,843	806,806
営業外収益	22,082	21,935
営業外費用	189	898
経常利益	866,736	827,842
特別利益	31,229	—
特別損失	16,512	574
税引前当期純利益	881,453	827,268
法人税等	264,798	287,288
当期純利益	616,654	539,979

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前 期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	919,278	186,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,410	△99,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,857	△152,223
現金及び現金同等物の増減額	326,010	△65,813
現金及び現金同等物の期首残高	917,300	983,113
現金及び現金同等物の期末残高	1,243,310	917,300

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

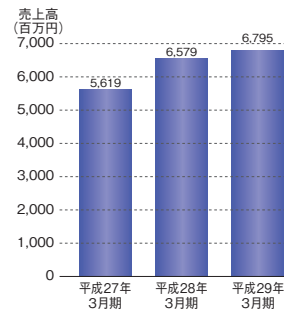
強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **6,795**百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 高揚程の汚泥回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SQ-16BWP)

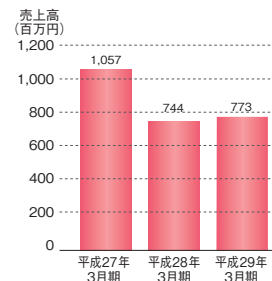


強力吸引作業車 (SM-06BVP)

新製品等 / その他

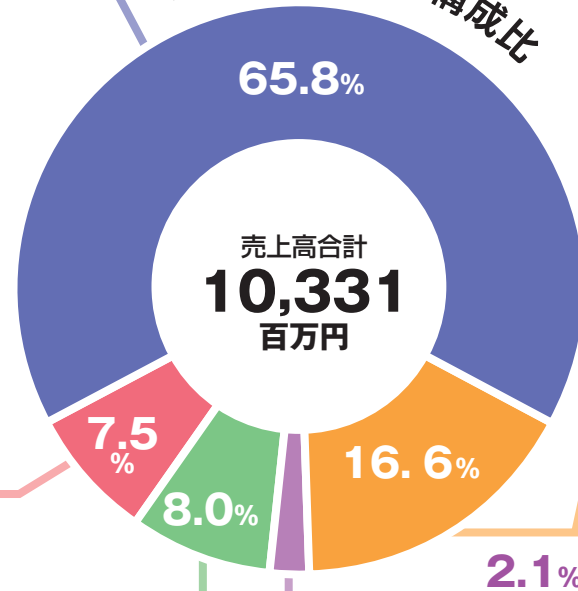
売上高 **773**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理が含まれています。



バイオマス再資源化装置 (詳細P9参照)

製品別売上高 構成比



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **1,715**百万円

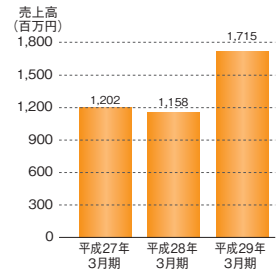
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04W2320A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **218**百万円

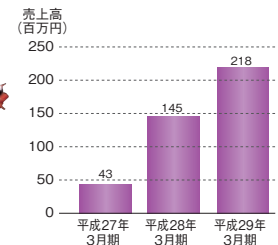
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等粉体の回収・高所搬送



粉粒体吸引圧送車 (NS-16BVT)



部品販売

売上高 **829**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



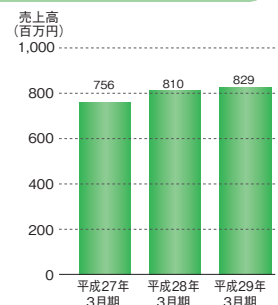
パワースライドノズル (回転式ノズル)



中間ジョイント (ホース接続ジョイント)



アタッチメント (吸引アタッチメント)



低騒音型 超強力吸引作業車 (LSR-13BWJP)



低騒音型湿式ポンプを搭載した車両です。
真空の立ち上がり早い点と、風量80 m^3/min の大風量で好評価をいただいています。
長距離・高揚程の吸引作業の他、洗浄作業装置も搭載しており、幅広い顧客ニーズに対応できる車両となっています。

2本ブラシ型(壁・灯、自動追従)トンネル清掃車(TC-06WW3B)



車の排気ガス等で汚れたトンネル壁面の清掃と、トンネル内の照度を保つためには欠かせない照明の清掃を、この車両一台で行うことができます。



タッチパネル操作式 高圧洗浄車(JS-04W2320A)



各操作スイッチ、計器(回転計・水圧計・ホース距離計・アウメータ)を全て操作盤の7インチタッチパネルに集約した高圧洗浄車です。洗浄作業～管内点検まで、操作盤のタッチパネルで確認できるようにしました。また、管内点検用カメラからの映像表示も可能です。

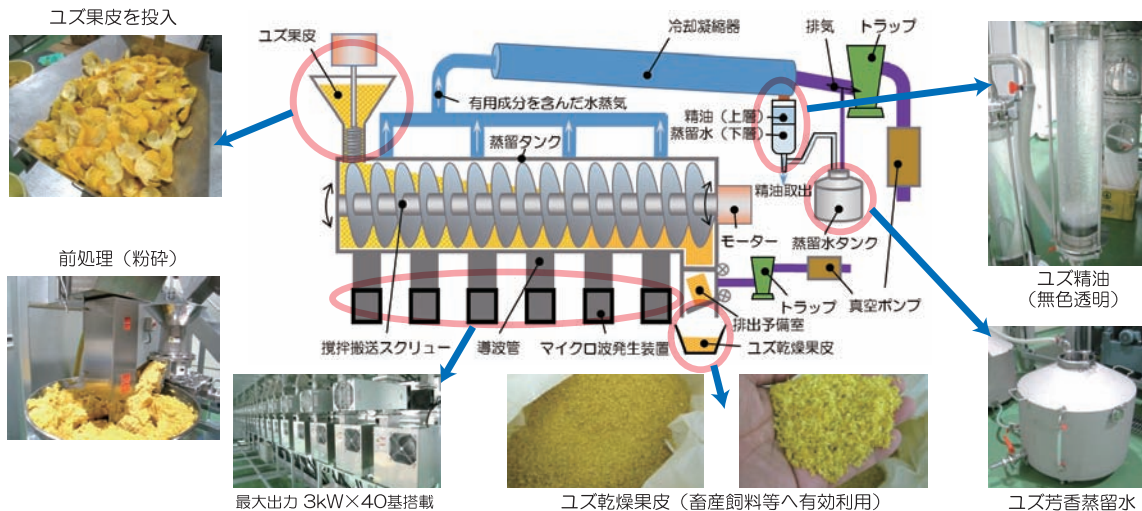
バイオマス再資源化装置(連続式精油抽出・乾燥装置)を初納入



バイオマス再資源化装置

この装置は、8時間で約500kgの果皮を処理する能力があり、精油の大量生産を可能にしました。また搾った後の果皮を乾燥させることで、産業廃棄物として処理していた果皮等(搾汁残渣^{さくじゅうざんざ})を家畜の飼料として活用することができ、ゼロエミッションを実現します。

装置の概要



重慶耐德山花特種車有限責任公司(中国)との技術移転契約更新

平成28年11月に重慶耐德山花特種車有限責任公司の林(リン)会長、銭(セン)社長、羅(ロウ)氏が来社され、強力吸引作業車・高圧洗浄車に関する技術移転契約更新の調印式を執り行いました。



調印式の様子



林会長(左)と当社佃社長

会社の概要

(平成29年3月31日現在)

設立年月日	昭和46年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	201名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

(平成29年6月20日現在)

代表取締役社長	佃 維男
代表取締役専務	山本 琴一
取締役	柳井 仁司
社外取締役	西岡 啓二郎
社外取締役	清金 慎治
常勤監査役	中村 修身
社外監査役	平井 雄一
社外監査役	筒井 康賢

事業所

(平成29年3月31日現在)

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場	〒783-0007 高知県南国市明見913-11 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター	〒783-0007 高知県南国市明見898-20 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

(平成29年3月31日現在)

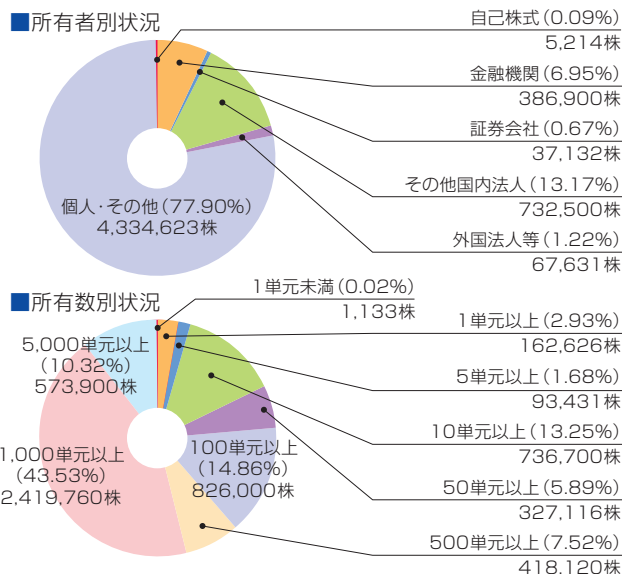
会社が発行する株式の総数	17,576,000株
発行済株式の総数	5,558,786株 (自己株式5,214株を除く)
株主数	1,792名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
株式会社扇港鋼業所	573,900株	10.32%
兼松エンジニアリング従業員持株会	466,100株	8.38%
山本 琴一	463,200株	8.33%
山口 隆 士	318,432株	5.73%
山本 吾 一	262,860株	4.73%
三谷 恵 美 子	212,680株	3.83%
柳川 裕 司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋 介	133,848株	2.41%
三谷 浩 溢	106,340株	1.91%
三谷 公 男	106,340株	1.91%

(注) 持株比率は、自己株式(5,214株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(平成29年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎.0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

K&B 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

280
古紙配合率80%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。